



赤城の自然を自転車で満喫 赤城山サイクルフェスタ

☎ 赤城自然塾 ☎027-212-2611

赤城山エリアを自転車で楽しむ「赤城山サイクルフェスタ」を開催。詳しくは赤城山プロモーションサイトAkagi tripをご覧ください。

- **赤城山サイクル・スタンプラリー**
赤城山エリアを中心としたサイクルオアシスを自転車で巡り、二次元コードを読み込むスタンプラリー。スタンプ数に応じて景品に交換や商品が当たる抽選に応募ができます。施設は入場料などが必要な場合があります。詳しくは専用ホームページをご覧ください。
- **赤城山グルメリライド**
赤城山南東麓を自転車で巡り、地元食を楽しみます。
- **日時** 11月4日(日)午前8時
- **集合場所** カネコ種苗ぐんまプラザパーク(柏倉町)
- **対象** 12歳以上(ミドル・ロングコースは15歳以上)、先着各1000人
- **費用** (シヨウトコース35キロ) 4,000円 (15歳未満は2,000円) (ミドルコース70キロ) 6,000円 (ロングコース92キロ) 8,000円
- **申し込み** 赤城山プロモーションサイトで



有害鳥獣の被害を減らしたい

私が狩猟免許の第一種銃猟免許を取得したのは6年前です。以前働いていた自衛隊での経験を、地域のために役立てられればと思い、周りのサポートを受けながら取得しました。

市内の銃砲店では銃の取り扱いなどを親切に教えてもらえますし、猟友会の先輩方にも現場での動き方などを教わっています。興味のある人はぜひ免許を取得して、一緒に地域のために取り組みませんか。



猟師 吉田 正孝さん



イノシシに荒らされたトウモロコシ畑



シカの食害で枯れた苗木

- **獣害も深刻な問題に**
赤城南麓ではイノシシが畑の農作物を食い荒らしたり、シカが木々の樹皮を食べて枯れさせてしまったり、獣害が深刻な問題になっていいます。農作物や木々を守るための取り組みは、侵入を防ぐネットの設置。しかし、それだけでは防ぎきれないほど、イノシシやシカは増えています。また、有害鳥獣を捕獲する狩猟者人口は減少。高齢化も進み、被害をもたらす有害鳥獣は年々増加し続けているのです。
- **その対策として、狩猟免許取得の助成を実施。**新たに狩猟者を目指す人を応援しています。

● 森林活用の循環を止めないで

人工林はまず植林をして、苗木をシカなどの野生動物の食害から守りながら下草を刈って育てます。ある程度育った木は、そのままの密度では日が当たらなくなってしまうので間伐を実施。日が当たるようになって大きく成長したら伐採し、その木材は住宅や公共施設の建築、木製品、まきなどの燃料として利用されています。循環が止まり、放置林になってしまつと森の荒廃につながります。森の荒廃は災害にも影響があるため、循環を続けることが重要です。



食だけでなく森も地産地消を

前橋・赤城地域が登録されたスローシティは、イタリア発祥のまちづくりの考え方。元になったのは、同じくイタリアで起きたスローフード運動です。地域で採れた物を地域に伝わる方法で調理し、味わう同運動。日本では近い意味の言葉で「地産地消」があります。

この考え方は食だけにとどまらず、森林保全にも当てはまります。前橋で採れた木材を、自分たちの生活に取り入れることで森林の循環が活発になり、美しい自然が磨かれていくのです。



山道や市街地を駆け抜けます 熱戦の自転車レース開催

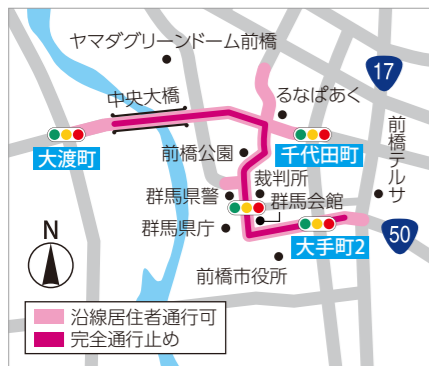
☎ まちづくり公社 ☎027・289・4764

● **まえばしクリテリウム**
まえばしクリテリウムと赤城山ヒルクライム、シクロクロス大会を開催します。

● **まえばしシクロクロス大会**
オフロード自転車で柵や階段などの障害物乗り越えながらスピードを競う、前橋シクロクロス大会を開催。詳しくは同大会ホームページをご覧ください。
- **日時** 10月14日(日)午前8時
- **会場** 岩神緑地(ヤマダグリーンドーム前橋第6駐車場北側)
- **申し込み** 9月30日(日)までに同大会ホームページ(定員になり次第受け付け終了)



● **まえばしヒルクライム**
全長20・8キロ、標高差1,313mの全国でも屈指のコースに全国各地のヒルクライマーが挑戦。温かい声援をお願いします。
- **日時** 9月30日(日)午前6時30分〜11時30分
- **交通規制を実施します**
大会開催に伴い、市内では両日交通規制を実施。ご理解とご協力をお願いします。



クリテリウム当日の交通規制図